

平成23年第4回燕市議会定例会 一般質問

質 問 日		質 問 者		
12月12日(月)	午前	1	齋藤紀美江	議員
	午後	2	小林由明	議員
		3	中島清一	議員
		4	本多了一	議員
		5	樋浦恵美	議員
13日(火)	午前	6	塙豊	議員
		7	渡邊雄三	議員
	午後	8	齋藤信行	議員
		9	中條征男	議員
		10	土田昇	議員
14日(水)	午前	11	山崎雅男	議員
		12	中山真二	議員
	午後	13	夕ナカ・キン	議員
		14	長井由喜雄	議員
		15	阿部健二	議員

平成23年第4回燕市議会定例会一般質問表

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1	齋藤紀美江	<p><b>1. 防災訓練について</b></p> <p>(1) 防災訓練の総括はどうか。気づきはあったのか。</p> <p>(2) 防災訓練参加者への情報の伝達方法はどうかだったのか。</p> <p>(3) アンケートの集計結果はどうかだったのか。</p> <p>(4) 避難所および避難場所の見直しについて。</p> <p><b>2. 障がい者福祉の取り組みについて</b></p> <p>(1) 障がいのある人たちも当たり前地域社会で暮らすノーマライゼーションの意識の下、少しずつではあるが、家庭に閉じこもるのではなく、自分のできる範囲で学び、仕事をし、スポーツを楽しみ、さまざまなことにチャレンジできるようになってきたが、まだまだ十分とはいえないと思うがどうか。現状認識は。また、これからの取り組みをどのように考えているのか。</p> <p>(2) これから中学校・高校を卒業してくる子どもたちもいる。日中の居場所や働く場所、住む場所などが必要になってくると思うが、取り組みへの考えはどうか。</p> <p><b>3. クレームへの対応について</b></p> <p>(1) 市役所の仕事の仕方についてクレームがくると思うが、対応はどうしているのか。</p> <p>(2) よく、「ほうれんそう」という言葉が使われる。「報告」「連絡」「相談」を速やかに行うことで問題が大きくならないうちに解決ができるということ。「ほうれんそう」は実施されているのか。</p> <p>(3) 民間の意識での対応ということが言われているが、地場産業振興センターは売店を持っているし、町田と両国にもアンテナショップを持っている。クレームはあると思うが主な内容と対応について。</p> <p><b>4. 自殺予防対策について</b></p> <p>(1) 自殺に対しての考え方が変わってきている。年間3万人を越える事態が長期にわたり、今までのタブー視から、なんとか手を打たなければならない状況になってきている。国は「ゲートキーパー」の養成に力を入れ、燕市でも養成講座やこころの講座などに取り組んできているが、新潟県自体、自殺率において常に上位に位置している。</p> <p>燕市も県内20市の中では上位に位置しているのではないと思うが、年度別の推移等現状はどうか。原因や年代別等分析をした上での取り組みが必要に思うがどうか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
2	小 林 由 明	<p><b>1. 地域情報化へ向けた取り組みについて</b></p> <p>(1) 「ICTの風にのり、伝える力、伝える心で実現する高度情報化都市 燕」として、燕市情報化推進計画が策定されているが、燕市が高度情報化を推し進めているという情報が、市民に認知されていると思うか。</p> <p>(2) 地域情報化へ向けた現在の取り組みと今後の展開について。また、具体的事業があれば伺いたい。</p> <p>(3) 生涯学習課の事業などでパソコン教室などが開催されており、市民の人気も高い。今後、開催場所や開催回数を増やすなどし、市民のICT活用の意欲とスキルの向上をさらに推進していく考えはあるか。</p> <p>(4) (3) の講座開催にあたっては、既受講者のスキルの向上と市民のICTへの関心を高めるため、既に講座を受講した市民の協力を仰ぎ、市民相互に教わり教えられる環境を提供するという事は考えられないか。</p> <p>(5) 公民館や各地域の集会所等に、インターネットの出来る環境の整備や機材の設置を行い、物質面から地域の高度情報化を図るとともに、ICTの多様な用途を紹介し、地域ブログの開設などを通じて地域の情報発信を促すなど、各地域の活性化を図る事は考えられないか。</p> <p><b>2. 図書館運営について</b></p> <p>(1) インターネット等で膨大な情報を得られるようになった今日、単なる資料の集積所としてではない機能が今後の図書館運営に求められると思うが、今後の図書館運営の展開についてお考えを伺いたい。</p> <p>(2) 地域情報のさらなる充実と電子化を図ることで、全国全世界のための燕資料館という、地域情報の発信拠点としての役割を担うことが出来ると考えるがいかがか。</p> <p>(3) 燕市が基幹産業と位置付ける業種の専門書や、今後推進したい分野、また、住民の関心の高い健康や医療に関する図書などの充実を図っていただきたいがいかがか。</p> <p>(4) 増加する図書館資料の整理をどのように進めているか。</p> <p>(5) 図書館資料の電子化は進められているか。</p> <p>(6) 図書館利用者が、持ち込みパソコン等を使用できるスペースを確保する考えはないか。</p> <p>(7) 休館日数を減らし開館日を増やすことはできないか。</p> <p><b>3. ALT（外国語指導助手）について</b></p> <p>(1) 外国人ALT招致の経緯と目的、現在の活動状況、および市の負担を伺いたい。</p> <p>(2) どのような成果が上がっているか。</p> <p>(3) 十分な成果を上げていると考えられるか。</p> <p>(4) さらなる効果を上げるため、今後、どのような運用が考えられるか。</p> <p>(5) 日本人と全く異なる文化や生活習慣を持ち、また、日本の教育と異なる教育手法を知る外国人ALTの視点を、言語教育や現在行われている地域交流だけでなく、市民へ日本文化の素晴らしさの自覚を促し、自らや祖国を愛し誇れる精神の涵養に資する活用と、教師の教育手法やまちづくりにも活かすような取り組みは考えられないか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
3	中 島 清 一	<p><b>1. 市長の政治姿勢について</b>            TPP問題について            (1) 野田首相はTPP交渉へ参加する方針を表明している。交渉の対象分野は関税以外にも金融、電気通信、労働、知的財産問題など21分野に及ぶ。食糧の安全保障や公的医療保険制度がどうなるのかなど問題が山積している。賛否両論がある中で市長はどのように考えているのか伺いたい。            (2) 農業への影響を懸念する根強い反対論と工業製品の国際市場開拓を期待する声交错しているが、参加した場合の本市に及ぼす影響について市長の考えを伺う。</p> <p><b>2. 東日本大震災について</b>            震災がれき処理受け入れについて市の考えを伺う。            東日本大震災で大量に発生したがれきの処理が大きな問題になっている。震災がれきの広域処理については環境省が全国の自治体に要請しているが、放射性物質への不安から受け入れは東京都など一部にとどまっている。県内においても受け入れの検討が始まっているが、本市の対応について伺う。</p> <p><b>3. 福祉問題について</b>            病児保育に対する市の考えを伺う            急に子どもの具合が悪くなっても仕事を休めない。本市においては中小企業が集積しており共働きも多い。仕事と育児の両立支援としての「病児保育」が求められている。実施に向けた検討を進めるべきと考えるがいかがか。</p> <p><b>4. 教育問題について</b>            英語版の中一ギャップ問題について本市の実態と対策について伺う            本年度から小学校で外国語（英語）活動が必修化された。大半の小学校では必修前から英語活動を実施し、児童らは楽しみながら学習してきた。しかしながら中学校に入った後は一転して嫌いになる「英語版の中一ギャップ」に陥るケースが目立つという。本市の実態と対策について伺う。</p>
4	本 多 了 一	<p><b>1. 市長の政治姿勢について</b>            (1) 社会保障と税の一体改革をどう受け止めるか。            (2) 消費税率の引き上げに反対する立場に立てるか。            (3) 社会保障の切り捨て、制度の改悪を許すことができるか。</p> <p><b>2. 商工観光行政について</b>            (1) 産業活性化で新エネルギー産業、航空機産業、及び医療機器産業を成長産業とみなしている理由について伺う。            (2) 新産業開発アドバイザーやコーディネーターの果たす役割について。            (3) 商店街の活性化には容易ならざるものがあるが、どう打開するのか。具体的にはどのような手を打とうと考えているか。            (4) 着地型観光の推進の具体化をどう進めるのか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
4	本 多 了 一	<p><b>3. 農業振興策について</b></p> <p>(1) 野田首相はTPPに参加する方針を決定したが、これで日本の農業、燕市の農業を守ることができるか。</p> <p>(2) 燕市の米作農家の大部分が兼業で成り立っているのが現状だ。政府は規模拡大で農業を守るといえるが、現実的には無理な話と受け止めないか。</p> <p>(3) JA農協は、政府がTPPに参加しても断固反対の立場を貫くとしているが、市長の見解はどうか。</p> <p>(4) 農林水産業は環境や国土の保全など、多面的な役割を果たしているが、それをどう評価するか。</p> <p>(5) 燕市として今後の農業振興策をどう進めていくつもりか。</p>
5	樋 浦 恵 美	<p><b>1. 「心の健康」対策について</b></p> <p>(1) 近年、うつ病などの「心の病」を患う人が急増しており、その患者数はすでに100万人を突破していると言われております。うつ病防止対策として、うつ病の早期発見を促すため、携帯番号やパソコンで気軽に心の状態を調べられる「こころの体温計」を市のホームページからアクセスできるシステムを導入していただきたいと思うが考えを伺いたい。</p> <p>(2) 現代社会は「ストレス社会」ともいわれます。在宅での介護は、介護する家族にも強いストレスを与え、虐待の原因にもなり得ます。介護に携わる方々が同じ悩みを分かち合い、集える場を提供するなど、介護者の心のケアをしていくことが大切であると思うが、考えを伺いたい。</p> <p><b>2. 子育て、教育環境の整備について</b></p> <p>(1) 昨年12月定例会において、病後児保育について質問をし、当局からは「県内の先進地を視察、関係者とも協議を重ね、現在、施設の整備や専門職の配置、関係機関との連携、運営経費などさまざまな課題を整理しながら実現に向けて検討をすすめている」との答弁がありました。その後、具体的に検討されているのか伺いたい。</p> <p>(2) 吉田南地区統合保育園について          保育園の運営が民営になるということで、不安に思っている市民の方もいらっしゃいます。公立との比較をした場合、デメリットを少なくしていく必要があると思います。市のホームページの「民営化ニュース」も拝見していますが、今後、どのように考えていかれるのか伺いたい。</p> <p>(3) 学校給食センター建設について          民間委託事業者の選定については、選定委員会を設置し、その中で選定基準についても審議していきたいということですが、選定委員会は設置されたのか。民間委託事業者の選定範囲は市内か県内であるのか、考えを伺いたい。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
6	埜 豊	<p><b>1. 教育問題について</b></p> <p>(1) 「教育立市宣言」から3年が経過したが、燕市における教育力向上学力向上のための問題はなにか。また、その課題を克服するために教育委員会はいかに取り組んでいるのか。</p> <p>(2) 小学校では23年度より導入された新指導要領による、時間数、授業内容への教師、子どもたちへの影響評価は。また、来年度より実施される中学校では、小学校での経験をどのように生かすのか。</p> <p><b>2. 開通にともなう問題点について</b></p> <p>開通目前の八王寺佐渡線と主要地方道新潟燕線のアクセス問題と定期朝市について</p> <p><b>3. 財政問題</b></p> <p>一括交付金制度が燕市財政に及ぼす影響と評価について</p>
7	渡 邊 雄 三	<p><b>1. 地域における支え合う社会の仕組み作りについて</b></p> <p>(1) 日本の社会は今、地域や職域、さらには家庭における人間的なつながりが薄れ、暴力、虐待、いじめなどが日常茶飯事に起こり、結果として他殺や自殺、ひきこもり、不登校、心身症、そしてうつ病などが多発している。その背景には、支え合う心の稀薄化、忍耐する能力の弱体化などが指摘されています。こうした現象はこれまで、家庭や個人の問題として等閑視されてきましたが、社会全体の問題であり福祉の一部として早急に対策を講じなければならないものと思います。これらのことを解決するためには、孤立社会から支え合いの社会を目指してあらゆる仕組みを作っていく以外にはないと思いますがお考えをお聞きしたい。</p> <p>① 3月議会で私の質問の答弁として市長より、新年度において新たにプロジェクトチームを立ち上げ、これらの課題につままして総合的に検討したいとありましたが、現在までの状況はどうか。</p> <p>② 支える方（ボランティア）人口を増やす必要があると思うが、どのように拡充していくのか。</p> <p>③ 今ボランティアをしてくださっている方々の高齢化もあり、後継の人材をどう育てていくのか。</p> <p><b>2. 三条・燕インター駐車場設置について</b></p> <p>(1) 高速バスが運行されてからかなりの年数が経ちますが、未だに高速バスを利用する方々のための駐車場が整備されていない。毎日40台くらいが路上駐車しており、駐車禁止スペースにも何台か駐車している。燕市に来る県内外の観光客が一番最初に目にする燕の玄関口にも関わらず、非常に景観も悪い。駐車場設置を求めている市民も多数いる。駐車場設置していただきたいがいかかがか。</p> <p>① 今日まで、駐車場設置に向けて手を尽くしてきたと思いますが、これまでの経過を聞かせていただきたい。</p> <p>② 車を三条燕インターバス乗り場付近に止めて公共交通を利用することにより、渋滞の緩和と共に環境改善に寄与すると思うがいかかがか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
7	渡 邊 雄 三	<p><b>3. 住宅用火災警報器の設置について</b></p> <p>(1) 6月1日から住宅用火災警報器の設置が義務づけられたが、現在の設置状況はどのようになっているのか。これから本格的な冬に向けて、暖房器の使用時間も増える。また、今年の冬は節電対策もあって、ファンヒーターから石油ストーブを使用する世帯も増加するようになると、火災の発生率も高くなることが予想される。さらなる普及活動に取り組んでいただきたいがいかがですか。</p> <p>①今まで市が無償で配布、取り付けした世帯はどのような世帯かお聞きします。</p> <p>②設置していない世帯の家族構成を把握しているか伺います。</p>
8	齋 藤 信 行	<p><b>1. 大河津分水路の今後の対応（旧可動堰周辺の整備）について</b></p> <p>平成15年から改築工事が進められてきました「新可動堰」。去る11月23日、大勢の市民・県民が見守る中、新堰へ切り替えられ、新たな歴史が刻まれた。</p> <p>篠田新潟市長・泉田知事・県選出の国会議員の先生方ほか多くの関係者が出席されたの通水式では、分水小学校の児童が大河津分水の歴史やその役割について発表があり、治水の歴史がきちんと伝承されていなくてはと再認識したところでもあります。</p> <p>新堰周辺工事は今しばらく続くとのことですが、今後は分水路における最重要課題である抜本改修にシフトしていかなくてはならないと考えます。</p> <p>国ではその改修方針が示されたという情報もあります。「地すべり対策を含めた抜本的改修」と「右岸堤防の高規格化」について、策定中の信濃川河川整備計画へ反映するよう意見されているとのこと。地元として早期着手に向け、さらに強力な要望活動をしていくべきと考えますが、市長の考えをお伺いします。</p> <p>また、旧可動堰が一門残置されると以前に答弁がありました。創設される高水敷・管理橋と分水さくら公園との融合について、具体的な提案等はされておられるのか、合わせてお伺いします。(11月28日・大河津分水新可動堰通水式・燕市長のブログ鈴木力の日記にも書いてありましたが、感想及び今後の完成式についての考えもお伺いします。)</p> <p><b>2. 燕はひとつプロジェクト事業について</b></p> <p>燕はひとつプロジェクト事業の夏祭り交流促進事業では、平成23年度、燕市の一体感の醸成を図ることを目的に、燕市の新しい踊りを創作し、次年度以降の夏まつり等のイベントで披露し広めていくこととしているということですが、踊り以外でも夏まつりを盛り上げる仕掛けを継続的に実施していく予定はあるのかお伺いします。</p> <p>また、今のところ燕市内のよさこい10団体と「恋ツバメ。」の作曲者を交え「恋ツバメ。」という曲で踊りの曲の完成に向けて、作曲者と編曲者の間で調整中ということですが、燕市内には、飛燕太鼓保存会、吉田太鼓龍神会、分水太鼓と各地区に太鼓の団体があります。そこで「恋ツバメ。」を太鼓の曲へ編曲したらいいのではないのでしょうか。できないようであれば、共通の曲を燕の曲として作曲してもらって各地区で演奏してもらってはいかがでしょうか。夏まつり等でよさこい太鼓で燕はひとつになれるのではないかと思います。市長の考えをお伺いします。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
8	齋藤 信行	<p><b><u>3. 専門的な派遣職員について</u></b></p> <p>市では専門的業務の派遣・出向職員が何人かいらっしゃると思いますが、その課だけということではなく、その職員の持っているノウハウを他の課でも活用してもよいのではないのでしょうか。例えば、観光事業の企画であれば施設の見学なども含むと思います。いろんな所を知っている専門職であれば、教育でどのような場合はどこかなどの企画も活用できるのではないのでしょうか。また、いろんな面でその場その場の対応が建築設計、工事管理、電気通信やITに関する業務など専門職員のノウハウを活かせるのではないのでしょうか。今の現状をお伺いしたい。</p>
9	中條 征男	<p><b><u>1. 循環・巡回バス運行について</u></b></p> <p>(1) 巡回バスの目的は何かを伺う。  (2) 巡回バスの運行見直しが検討されているが、計画を急ぐべきと思うが、その方向は。  (3) 「デマンド運行」を検討しているが、循環・巡回バスの同時運行を進めていくのか。  (4) 新庁舎完成時に巡回経路の見直しと言うが、その前に見直す計画はあるのか。  (5) 現行の路線運行方法で市民のニーズに対応していると思うか。</p> <p><b><u>2. 公共施設管理について</u></b></p> <p>(1) 吉田ふれあいセンター（旧婦人会館）の施設運営をどのようにとらえているか。  (2) 施設内の管理は適していると思われるか。  (3) 管理員の人員数は妥当と思うか。  (4) 指定管理制度の計画は。</p> <p><b><u>3. 農地の荒廃地対策について</u></b></p> <p>(1) いまだに荒廃地が解消されていないが、どのような計画で指導していく考えであるか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
10	土 田 昇	<p><b>1. 平成 24 年度予算編成の基本方針と重点施策について</b></p> <p>(1) 東日本大震災の復興や東電福島原発の放射能汚染問題等々で東日本の方々は厳しい生活環境にあると思います。</p> <p>そのような状況の中で、現在の民主党政権のもとで、経済の低迷、行政の停滞、さらに、円高問題やT P P問題などが山積している中で、国の財政状況はまさに厳しいものがあると思います。市の財政状況も非常に厳しいものがあると思いますが、本年度の基準財政収入額、実質収支比率、経常収支比率、公債比率、起債制限比率について、現在の状況と 24 年度の予定について伺います。合併後の特例債の起債金額についても伺います。(旧市、町単位)</p> <p>(2) 最近の野田内閣は「社会保障と税の一体改革」などと発言して消費税の増税について検討するとしています。市の財政は厳しい経済状況の中で税収が落ち込んでくると思いますし、交付税の削減についても今後考えていかなければならないと考えます。</p> <p>24 年度予算で必要なことは、限られた財源の中で、どのように配分するか、そこが問われる予算編成になると思います。福祉に関する予算、暮らしに関する予算、教育に関する予算。この分野の予算が削減されると直接市民に負担が重々のしかかってきますので、福祉、暮らし、教育最優先の予算編成を強く求めますが、市長の基本的な姿勢と福祉、暮らし、教育に関する予算の中で重点施策があったら伺います。</p> <p>(3) 現在、吉田小学校の改築事業が進められている。24 年度予算では、本格的に着手する予定になっているが、この事業は、合併特例債とガス譲渡清算金等々で進められてきている。財源内訳について伺うと同時に、体育館の完成が 26 年になっているが、早期に完成する努力が求められると思う。その認識について伺う。</p> <p><b>2. 市営住宅の管理について</b></p> <p>(1) 現在の市営住宅の数について伺う。(旧燕、吉田、分水の数)</p> <p>(2) 入居可能な数。(旧燕、吉田、分水の数)</p> <p>(3) 現在入居不可能でも修理して入れる数はどのような状況か伺う。(総額の予算はどのような金額になるか)</p> <p>(4) 完全に入居不可能な住宅の数、来年度予算で解体費用を要求すべきと思うが、その認識について伺う。(金額も含めて)</p> <p><b>3. 信濃川可動堰の残土処理について</b></p> <p>(1) 可動堰改築事業で(向野新堀地区)土砂仮置場の用地について今後どのように対応していくのか伺う。</p> <p>(2) 地権者の中で、現状のままでもよいとか、復元して戻してほしいとか多様な考え方があがるが、地権者に信濃川河川事務所は説明する必要があると思う。市としてどのように考えているか伺う。</p> <p>(3) 残土処理置場の期間は契約どおりで終了するのか伺う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
11	山 崎 雅 男	<p><b>1. 市長の政治姿勢について</b></p> <p>(1) 市の財政を将来にわたって安定していくために、地域経済を活性化し、市民の暮らしを温め、市の財政力を高めることに精力的に取り組む予算であってほしい。財政が厳しいということだけが強調され、歳出抑制に主眼を置いて予算が編成されるきらいがあるが、現在の厳しい市民生活を見据えれば、生活に欠かせない大切な施策こそが重要だが、新年度予算編成に向けての主な重点推進事業は何なのか伺う。</p> <p>(2) ①行財政健全化を進めるにあたり、不要な土地の返還、そして建築物を伴う恒久的な敷地等は借地であってはならない。前回、借地解消の質問に対して、中期的な視点で財政状況を勘案しながら解消を図っていききたいとの答弁。借地解消については一般財源で取り組まなければならない、財政負担が伴う中でその時期に検討するには遅い。借地解消に向けて別枠の財政調整基金として積み立てていくべきでないか見解を伺う。</p> <p>②借地料は燕市内どの地域においても一定の基準により適正な借地料であるべきだが、借地の賃借契約等検証、見直しはその都度図られているのか。また、どのような方法で行われているのか。</p> <p>③学校敷地、集会所等々含め、土地保有者 290 名の方から総面積 32,600.81 ㎡を借り上げ、毎年 12 月中旬頃借地料が支払われているが、契約開始時期からこれまでの総支払い金額と学校敷地等取得するための方策を伺う。</p> <p>(3) 新庁舎建設時期に伴い、現庁舎の利活用ができるよう同時進行すべきで、新庁舎建設移転後速やかに活用できるための進捗状況はどうなのか。また、現吉田南保育園の利活用に対する進捗状況はどうなのか。</p> <p><b>2. まちづくり協議会の果たす役割について</b></p> <p>(1) 住民自治は、住民の自主的、自覚的な参加と活動が基本であり、住民の創意工夫が活かされて初めて本格的な自治、まちづくり協議会が成り立つ。「行政業務を減らし、地域に委ね、財政難を乗り越える」という発想では、地域の活性化、人材発掘、育成等住民自治は育たないが、まちづくり協議会への捉え方と基本姿勢についての見解を伺う。</p> <p>(2) 積極的な活動計画、事業執行にあたっては、財源の裏付けがなければ実行に移すことは不可能に等しく、住民の要望に応えるに相応しい十分な活動は制限されるが、新年度予算は活動に見合った補助金配分すべきと思うが見解を伺う。また、イキイキまちづくり支援助成の活用状況と具体的内容を伺う。</p> <p><b>3. 公民館の運営について</b></p> <p>粟生津公民館、吉田北公民館、小池公民館等はすでに指定管理者制度が導入されているが、制度の導入により公民館施設等を利用する市民、地域住民にとって使い易くなるような創意工夫が図られたり、管理運営費用をより効率化するようなアイデアを出したりして鋭意努力を行っている。自分たちの大切な施設として意識・自覚を持っているが次のことについて伺う。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
1 1	山 崎 雅 男	<p>(1) ①施設運営におけるさまざまな観点から、指定管理業務に対する検証と捉え方、そして、他公民館の現状に対しての認識について伺う。</p> <p>②公民館等の利用実態と利用者側の要望を市民に公開して、より良い施設運営を目指すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) ①行政は市民の声を活かすように作られた組織でなければならない。市民の声を政策に活かしていくタイミングと、市の政策を実現していく際の組織の進行管理はどのようになっているのか。</p> <p>②市は指定管理者制度導入に際して、経済的な効率性と強調するのであれば、行政自らのコストについての認識とコストに対するサービスの質をどのように評価しているのか。</p> <p>(3) 市民にとって行政の資質向上と市民サービス向上につながるような経営の視点からの運用を求めるものだが、指定管理者制度導入を通して市は行政運営の改善についての認識とどの点について改善しようと考えているのか。</p> <p><b>4. 農業情勢（T P P問題）について</b></p> <p>(1) 政府はT P P交渉参加に向けて関係国との協議入りを表明。T P P交渉に参加した場合による痛手は農林水産業だけでなく、日本経済構造そのものを脅かし日本主権にも関わる国民生活に多大な影響を与えかねない大問題であるが、前回T P P問題に対してとても悩ましいとの市長答弁であったが、動きがある中で再度現状認識を伺う。</p> <p>(2) 国内外を相手にする、ものづくり産業のまちで、有能な技術力を持ち合わせている人材豊富な燕市にとって将来T P P参加、不参加した場合の燕市への影響とメリット・デメリットをどのように捉えているのか伺う。また、燕市農業産出額と工業出荷額を試算した場合どのような数値となり、直近の産出・出荷額と対比した場合、どのように予測されるのか。</p>
1 2	中 山 眞 二	<p><b>1. 財政の健全化と公有資産の売却について</b></p> <p>(1) 財政の健全化について</p> <p>①全国に1700を超える市町村があり、財政力の豊かなまちから厳しいまち、また借金のないまちから多額の借金を抱えているまちとさまざまな市町村がある。しかしながらそのことが住民の幸せ度とはまた異なると思うが、健全な財政の燕市とはどのようなものなのか、住みよいまちとはどのようなものなのかを聞きたい。</p> <p>②大阪の市長選挙を見て、市民が求めていたもの、市民の考える財政の健全化にとって一番のモノは、行政のスリム化、人件費の削減と思えるが、市長の見解は。</p> <p>③市の業務の民営化や、指定管理者への委託によって行政の仕事量は減っていると思うのだが、その分の人件費は減っているのかを問う。</p> <p>④燕市にとってあり得ないことだが、もし財政の破たん直面したとき、歳入増・歳出減にあたり最初にやるべきことは何か。また、どのような部分からメスを入れていくのか。 (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
12	中山 真二	<p>(2) 市営駐車場の売却について</p> <p>①売却の理由と最低価格1,000万円の根拠は。</p> <p>②市営駐車場の収支は。</p> <p>③400万円程度かけて耐震診断をしたわけだが、他にも人が仕事をして出入りする施設があると思うが重要性の薄い駐車場を先にした理由は何か。</p> <p>④速やかに耐震補強をするように購入者に求めているが、いつまでにどのような補強をさせるのか。</p> <p>⑤5年以上駐車場としての運営をするようにとあるが、現在やっている時間貸しも続けるのか。</p> <p>⑥売却に関し、物件説明、情報提供（宣伝）は適切に行われていたか。また、周知期間1カ月は適切であったか。</p> <p>⑦建物の固定資産税の評価はしていたのか。その金額は。</p> <p>⑧駐車場を売ることによって、当該地域の商店街の活性化に影響はないのか。</p> <p>⑨駐車場を売ることによって燕市は損をするのか得をするのか。売却によって財政健全化にどのように寄与するのか。</p> <p><b>2. 花火について</b></p> <p>(1) 合併後、燕地区に花火が上がらなくなって数年がたつが、花火がなくなったことで燕市民祭が今一つ盛り上がり欠けているように感じる。民謡流しや燕ばやしの終了後、土手で花火を見ることで祭りのクライマックスを感じると思う。防災行政無線を通じ、近況報告をするようなメッセージを流しながらの「メッセージ花火」のようなものを市民から募集してあげてはどうか。</p> <p><b>3. 産業について</b></p> <p>(1) 地場産センターと商工観光部の連携、棲み分けについて</p> <p>先般地場産センターの理事会で、業務の中間報告があったが、あまりにも参加者の少ない企画が行われていた。燕市分だけでも1億3千万円の補助金が出されているわけだが、いまだに商工観光部と地場産センターの地元産業界への貢献度や存在感が感じられない。産業を支援をするにあたっての棲み分けや連携をどのように考え政策を実施しているのかを問う。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	タナカ・キン	<p><b>1. 組織のあり方と人材育成について</b></p> <p>(1) 市政に対し、強い関心をお持ちの市民から、全議員に1冊の本が配られた。北海道森町・佐藤町長の著書「組織を変えるマネジメント」がそれである。          停滞した組織を変えるために佐藤町長が実行したことが書かれている。市長だけでなく私たち議員や市の職員が、燕市を本当に良くしようと思ったら学ぶところばかりという驚く内容である。市長の感想をお聞きしたい。また、燕市でも実行してみたいというところがあったら、それもお聞きしたい。</p> <p>(2) 10月に職員研修のため燕三条ワシントンホテルに5名の職員を派遣された。職員の年代、目的や何を学んできたのか。また、報告はどのようにされたのか。今後の予定についてもお聞きしたい。</p> <p>(3) 民間企業で学ぶのも結構だが、それならば職員採用のとき、民間で5年以上勤めた経験のある人間だけを採用するというのはどうだろうか。これこそ停滞している組織が再生することにつながるのではないか。</p> <p><b>2. 産業史料館の再生について</b></p> <p>(1) 産業史料館を訪れる団体客や市外からの来館者に対して、ガイドのサービスを提供したらどうだろうか。</p> <p>(2) 史料館に行っても館長と会えないが、どういう勤務体制になっているのか。</p> <p><b>3. 酒呑童子行列の再生について</b></p> <p>9月定例会では、2つある観光協会を平成25年をメドに統合していく検討をするとの答弁があった。観光協会が統合されたとき、酒呑童子行列は継続してもらいたい。今までのやり方では予算の割にはいま一つである。おいらん道中に匹敵するようなイベントにできないものだろうか。</p> <p><b>4. 市民サービスについて</b></p> <p>現在、手話通訳のできる職員は福祉課に一人いるだけである。福祉課だけでも一人では何かと不便である。他の窓口でのサービスも考えると一人では対応しきれないのではないだろうか。増やすことは考えられないだろうか。</p> <p><b>5. 図書館サービスについて</b></p> <p>図書館にパソコンがあるが、プリンターが無い。新聞や資料にはコピーの対応がある。プリンターも必要なのではないか。</p> <p><b>6. 公民館活動における文化祭について</b></p> <p>公民館を利用しているサークルの文化祭のとき、準備や片付けをサークルの人たちでやられているが、かなりの高齢の方も含まれていて、パネルの運びや設置において、床の上を引きずってしまったとか、壁にぶつけるというのが常である。ケガでもされたらと思うと準備や片付けに職員やシルバーさん等にお願ひできないものか。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
13	タナカ・キン	<p><b>7. ヤクルト・スワローズのマスコットキャラであるつば九郎の使用について</b></p> <p>まず、市長はヤクルトファンなのか。ヤクルトが燕市に依頼して「つば九郎米」を作り、球場の売店で売るなら何の問題もない。むしろ結構なことである。燕市は公共であり、ヤクルトは民間企業である。燕市が市をあげてヤクルトを応援していると錯覚するようなことは慎むべきであろう。この際、燕市でも市のイメージアップにつながるようなマスコットキャラクターをつくったらいかがか。彦根市の「ひこにゃん」などの成功例もある。もし、人気が出ればそれこそ燕市の宣伝になるというものである。「つば九郎」を使うのはやめた方がいいと思うが。</p> <p><b>8. 在宅介護手当の見直しについて</b></p> <p>9月定例会でも質問をした。その際、要介護2のAさんの例を紹介した。答弁では経済的弱者の方々については再検討する余地があるとのことでした。Aさんの例では具体的にどうなるのかお聞きしたい。</p> <p><b>9. 特別職報酬等審議会について</b></p> <p>平成22年12月31日現在における全国809市（うち1市は日額報酬制）の市議会議員の報酬の全国平均では月額42.04万円である。燕市は月額27万4700円である。5万人未満の249市の平均でも32.72万円である。燕市がいかに低いかということの証しである。県内20市の中では18位である。市長の順位も17位と低く抑えられている。この金額に対し、市長はどう思っているかお聞きしたい。審議会で検討される際、どんな資料を用意されているのか。</p> <p><b>10. 法花堂地内の墓地計画について</b></p> <p>(1) 情報公開条例で、分水西墓苑と吉田法花堂地内の墓地等経営許可申請書及び添付書類の請求を行った。15日経過して、公開できない箇所のベタ塗りが多いと連絡があり、結局、私の手元に届いたのは申請してから27日後であった。情報の約95%がベタ塗りというものだが、どんな検討をするのか。なぜ、こんなに時間がかかったのか。</p> <p>(2) 生活環境課長は、申請者に隣接する桜町の自治会長や自動車学校の同意書ももらってくれと口頭ではあるが行政指導を行なったというが、申請書の中には含まれていないが。</p> <p>(3) 許可申請書が提出されてから2カ月以内に許可・不許可の決定がされるわけである。今回の件では名義貸しの疑いもあったが、2カ月間の確認作業でその事実はあったのか。</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	長井由喜雄	<p><b>1. 燕市の要介護者をめぐる状況について</b></p> <p>(1) 介護保険法改正に伴う市の対応について</p> <p>国は、今年の6月22日に「介護サービスの基盤強化のための介護保険法の一部を改正する法律」を交付した。</p> <p>この改正の大きな問題点として指摘されているのは、要支援1,2の人が介護保険サービスから外されることにつながるということだ。</p> <p>総合事業は介護保険のサービスではなく保険給付ではない「地域支援事業」とされ、この総合事業も保険給付費の3%が上限とされて、燕市では現在2.14%の1億2,207万円がこれに当てられている。国は法律から要支援者を外し、安上がりに転換させようとしているわけだが、市としては変わらない保険給付とするのか、それとも「総合事業」に移すのか考えをお聞かせいただきたい。また、今回の法改正により、保険者として危惧する点を示していただきたい。</p> <p>5期では5,000円を大きく超える保険料が想定されるが、高齢者の負担はすでに限界を超えているのではないかと。私は、国に対して介護保険に対する負担割合を現在の25%から大きく引き上げることを求めなければならないと考える。介護保険の保険者である燕市が市民の「これ以上負担はゴメンだ」という声を受けて、他の自治体、保険者と協力しながら国に対してモノを言う姿勢を強めて欲しい。</p> <p>(2) 要介護2以下を切り捨てる「介護手当の見直し」は撤回を</p> <p>市は「今年度を周知期間」として、平成24年度からの在宅介護手当を要介護2以下の人に対しては一律にカットし、「ゼロ」とすることを表明し、9月になって初めて対象者に対して文書を送付した。</p> <p>「周知期間」を設け、「市長とのふれあいトーク」を通じて説明してきたと言っても、実質的には9月になって初めて知ったという方が多い。</p> <p>燕市の在宅介護手当は合併前からの旧燕市の制度として生まれ、ご本人、および家族の支えとして大きな役割を果たし、燕市民に対しても在宅要介護者の介護環境を守る役割を果たしてきたものだ。市の財政環境が厳しくとも、この「見直し」を撤回することを求める。</p> <p><b>2. 柏崎刈羽原発に伴う安全協定の締結について</b></p> <p>(1) 柏崎刈羽原発に伴う安全協定の締結について</p> <p>先の議会では、市長は「協定を結ぶ必要性は認識している。同じような距離的条件にある市町村と連携しながら結んでいきたい。3つの市の勉強会に参加し、連携しながらこういった形の安全協定が望ましいか議論したい」ということだった。その後の取組の状況はいかがなのかお聞かせいただきたい。</p> <p><b>3. 市の避難訓練と災害情報の発信手段および大河津分水河口拡幅の国への要望について</b></p> <p>(1) 市の避難訓練の実施について</p> <p>分水小学校区を対象にした燕市としての避難訓練を分水高校に行き、9時か (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	長井由喜雄	<p>ら終了まで具体的な訓練状況を見学させてもらった。地区住民の方の意見も含め大きく5つの課題を示したい。</p> <p>①休日の高校のカギは災害時に開いているのか、誰がカギを管理しているのか。</p> <p>②避難箇所が隣接して高校と保育園があるが、水害避難でも保育園を避難箇所と勘違いしている。</p> <p>③いったん町内ごとに公会堂などに集まってから避難場所まで来るという行動だったが、危険が目前に迫った時間の中で、距離的に迂回避難となることが果たしてどうなのか。</p> <p>④水害避難は高いところにまず避難することが大事だが、公的施設だけではすぐわず、民間企業などとの連携がどうしても必要になるが、その点の協力関係づくりが行われていない。</p> <p>⑤市の発行したハザードマップを見ても、避難場所と指定されている保育園、高校が浸水深5mの中にある、すでに浸水が始まった段階では避難自体が危険と隣り合わせということになる。水害を想定し、Eボートなど水害時の救出用具の常備が必要。などだ。</p> <p>市は今回どんな教訓を得たのか、これを通じて見つかった課題はどんなことがあげられるのかお聞かせいただきたい。また、今回は分水小学校区を対象としたものだったが、他の14小学校区でも訓練を実施することを考えているのかお聞かせいただきたい。</p> <p>(2) 大河津分水路河口の拡張を国に要請し、大雨に対応することが喫緊の課題 可動堰の幅が1.5倍となり、通水量が増えたとしても、これで大雨による破堤、大洪水を防げるのかという課題がまだあるはずだ。 見学者に信濃川河川事務所からパンフレットが配られたが、分水路全体を写した航空写真を見て明らかなように、河口の狭さが解消されない限りは、近年の気象に対応することはできないと感じた人は多いはずで、今こそ、国に対して大河津分水路河口の拡張を県や関係市町村と一緒に要請すべきではないか。市長の考えをお聞かせいただきたい。</p> <p>(3) 災害FMラジオの各世帯配布で防災情報を内外から発信を 外にある防災行政無線は暴風雨の中での水害情報などは室内にいる人には届かず、もう一つ別な手段がどうしても必要となっている。 FMによる緊急告知放送は、当然ながら受信するラジオがなければ聞くことはできない。これを市の重要な防災情報伝達手段とするならば、全世帯配布を目指していくべきではないか。現在は、70歳以上の高齢者のみ世帯、障がい者のみの世帯、介護保険サービス事業所、自治会長、民生児童委員、そして議員に配布されているが、その台数は3,000台程度でしかなく、これ以外の世帯ではたまたま「FMラジオはーと」を聞いている世帯以外は情報を得ることができない。 緊急告知としてのラジオを今後どのように位置づけていくのか。また、さらなる整備を考えているのかお聞かせいただきたい。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
14	長井由喜雄	<p>(4) デジタル放送を利用し、テレビを使った情報配信を            今年の7月にテレビ放送が完全デジタル放送に移行した。デジタル化したこと            によって情報量が格段に多く送れることを利用して、自治体からの防災情報を送            ることができないか。具体的には、朝テレビをつけると画面の片隅に燕市などの            天気情報が表示されるが、ここに災害情報を乗せられないかと思っている。</p> <p>この問題はデジタル放送活用という有効と考えられるものが目の前にあるの            に、どこから手をつけていいのか、斬り込んで行ったらいいのか、具体的なも            のがなかなか見えないが、手をこまねいては進まないし、地方自治体の            立場からも活用の方法について探っていくことが市民の利益にもつながると思            う。市としても行動していただきたい。</p> <p><b>4. 国保のジェネリック医薬品軽減通知について</b></p> <p>(1) 国保の「ジェネリック医薬品軽減通知」を市独自で取り組んでいくことも考え            てはいかがか</p> <p>22年8月の国保証更新時に「ジェネリック医薬品希望カード」を配布した            ことによって、22年度は半期で約2,400万円の調剤費の削減に結びついた。</p> <p>私はさらに成人病など慢性疾患の方で調剤費負担の減に結びつく方を対象と            した「ジェネリック薬変更差額通知」の実施を提案し、これを求めてきたが、「10            月に行われた国保システムの変更に伴いこれを実施したい」とのことだった。            その後の進捗状況はどうなっているのか。これがさらに実施未定ということど            であるならば、燕市単独で実施に踏み切ることを求めたい。</p> <p>差額通知の取り組みは、若干の費用はかかることにはなっても、これに十分            見合う効果があると期待される。国保システムに頼った「よーいドン」に時間            がかかるのであれば、市独自に実施するべきではないか。</p>
15	阿部健二	<p><b>1. 大阪の市長選・知事選の結果からうかがえる市民や国民の求めている政治手法            のあり方を考慮した燕市政を…</b></p> <p>政治とは～について、大辞泉では「①主権者が、領土・人民を治めること。ま            つりごと。②ある社会の対立や利害を調整して社会全体を統合するとともに、社            会の意思決定を行い、これを実現する作用。」と出ており、この定義は、当然、            議会制民主主義を前提にしたものと思われる。</p> <p>広辞苑が用例として引用している小説『かのやうに』の中の「政治は多数を相            手にした為事である」という森鷗外の言葉は滋味掬すべき寸言と思うが…。</p> <p>(1) 大辞泉の①でいう「主権者」とは誰をさすと思われるか。</p> <p>(2) 大阪での選挙結果については「現今の政治に対する閉塞感から」という見解が            多く語られているが、聞きたいのは、その先で「その閉塞感が何から来ている            のか」である。市長は、それは何から来ていると思われるか。</p> <p>(3) 燕市では政治に対して、と言うよりも鈴木市政に対して、市民の閉塞感はない            と思っておられるか。            (次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿 部 健 二	<p><b>2. <u>市のみならず市の教育委員会も燕市議会を追認機関と見ているのではないか～</u></b> <b><u>について</u></b></p> <p>6月議会での『明治憲法下での“市会”と戦後アメリカによって持ち込まれ『民主主義の学校』と言われている市議会（地方議会）との差を、どのように認識されておられるか」との問いに対し、南波部長は「明治憲法には地方自治の条文はなく、当時の“市会”は国の支配機関の一部の性格が強かったと思う」と答え、市長も「議会を単なる追認機関とみていることはない」と言われている。</p> <p>にもかかわらず、広報つばめには、それを疑わせる記事が載っていたのである。</p> <p>(1) 先般出された『燕市学校教育基本計画』の、ことに人権教育の部分に異を唱えた議員の声は何ら反映されていないことから、教育委員会が燕市議会を燕市教育ビジョン検討委員会よりも下位に見、さらには燕市議会を追認機関としか見ておられるのではないかと感じられてならないのだが、いかがか。</p> <p><b>3. 『燕市学校教育基本計画』についてを問う</b></p> <p>「わからないことがあったら、先生に聞け。わからないまましていると、一生わからずじまいで終わってしまうぞ」という教えに忠実だったのが私の次男で、それをくり返すうちに先生は授業が終わったとたんに職員室へ逃げようになったという。</p> <p>次男は、先生を職員室にまで追っかけることにしたのだが、ある日、職員室で、質問したことのない音楽の先生から「お前は5教科だけが大事だと思っているのか」と、きつく叱られたそうである。</p> <p>(1) 音楽の「お」の字も美術の『び』の字もない『燕市学校教育基本計画』を見たら、その先生は何と言うであろうか？…である。</p> <p>(2) 『学校教育基本計画』の中には、市教委連携事業の「図書館運営推進委員会」、市教委連携事業の「心の教育推進委員会」、市教委連携事業の「人権・同和教育推進委員会」、市教委連携事業の「体力向上推進委員会」などなど、“市教委”は“燕市教育委員会”の略であろうが、何ゆえ“市教委連携事業の”という冠をつけているのか。また、「言葉の力」を説きながら「ICT」や「ALT」などに何の説明もつけないのはいかがなものだろうか。</p> <p>(3) 『学校教育基本計画』の中の“学校図書館の整備・充実”には「蔵書の確保・パソコンの整備・図書館ボランティアの充実」が謳われているが、図書館のスペース拡大の施策が見当たらない。</p> <p>燕市教育ビジョン検討委員会の中では、図書館のスペース拡大を求める声はなかったのか？…である。</p> <p><b>4. <u>行政視察で訪れた他市から学ぶべきこと</u></b></p> <p>市民厚生常任委員会で訪れた1日目の視察先は「屋上緑化」に取り組む戸田市でしたが、さすがは各地で講演しているという環境クリーン室・副主幹の吉田さんの、話せば話すほど熱が入ってくる「ゴミを金に変える」話に圧倒され、まずは、やる気のある職員がいる戸田市、職員にやる気を起こさせている戸田市に感心させられた。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言 の 順序	質問する議員	質 問 内 容
15	阿 部 健 二	<p>吉田さんのレクチャー後、戸田市役所屋上「フェルトガーデン戸田」を見学し、戸田市が「生ごみと花の苗を交換する事業」の現場“蕨・戸田衛生センター”にも寄った。</p> <p>2日目に訪れたのが「町内福祉村事業」を展開している平塚市で、その後（もちろん自前で）昼食をとったのが、サザンオールスターズの桑田佳祐が出たという茅ヶ崎小学校わきのサザン通りにある市が経営する「障害者の就労を支援する店舗サザンポ」。3日目に訪れたのが、特産品のナシをもじって「健康に心配なし手帳」という介護ボランティア手帳を発行している稲城市である。↘</p> <p>↘ 稲城市では、ポイントによって年間最高5,000円までの交付金を出してボランティアの介護保険料の負担軽減につなげ、事業効果として要介護者を減少させているという。</p> <p>(1) カフェ・サザンポで残念に思ったのは、かつて、燕福祉会が仲町に介護施設を作るに際して提案した「障害者のやっているパン工場で焼かれたパンの販売と喫茶のコーナーをつくりたい」という話を市として茅ヶ崎市の方式で生かせなかったものかであるが、これからも検討の余地はないか。</p> <p>(2) 燕市でも稲城市のような「介護支援ボランティア・ポイント制度」が実施できないか?…である。</p>